

第1章 世界の中の日本文化

この章では、次の視点から日本の文化・日本人のパーソナリティについての全体的特色や問題点について考える。

序章でもそうであったが、ここでいう「日本とは何か」は、日本の個々の伝統文化について説明するものではなく、全体として「日本とは何か」=〔1**日本論**〕、「日本人とは何か」=〔2**日本人論**〕を論じるものである。

- 1 日本の文化は外国人の目にはどのように受け止められてきたか。
- 2 日本人自身は日本についてどのように論じてきたか。

1 日本研究の流れ

日本・日本人に対する研究は時代ごとにどのような特色がある

<19世紀以前>

(ア) 日本に来て日本のことをヨーロッパに紹介した最初の外国人は、16世紀にやってきた〔3**宣教師**〕。

彼らの本国宛の報告書の中には、日本人は「教育の水準が高く礼儀正しい」と表現されている。

(イ) 幕末から明治時代には、外交官・明治政府に雇われた人々など多くの欧米人によって、それぞれの日本人論が展開される。

(ウ) 一方で、日本文化を自信を持って外国に紹介しようとする日本人の名著も登場する。

〔4**新渡戸稲造**〕『**武士道**』(1899年)

この時代の特色

外国人の興味は、全体的には、東洋の不思議な国 =

(5**エキゾチック**な国)である日本への素朴な興味関心という段階。

<20世紀半ば第二次世界大戦前後>

(I) 戦争相手としての日本を分析した外国人の詳細な研究が登場。

ルース・ベネディクト『**6菊と刀**』=日本研究の古典的名著

<20世紀後半>

(オ) 戦後の復興につれて、日本人による日本人論・日本論が多数出版される。

土居健郎『**甘えの構造**』(1971年)、中根千枝『**タテ社会の人間関係**』(1966年)

(カ) 1980年代になると、特に新しい視点からの外国人の著書が登場。

経済的に成功した日本の秘密を探る

ライバルとなった日本を批判する (後者はリビジョニストの一群)

ex 「人間を幸福にしない日本というシステム」カルバン・ウォルホレン

前者の先駆けとなったのがA・ヴォーゲル『**Japan as No.1**』

日本人と日本人論

吉澤柳子『**外国の教科書と日本**』(丸善ブックス1999年)

「『日本人ほど日本人論が好きな国民はいない』。この言葉を、何度、耳にしたことでしょうか。確かに、日本論、日本人論に関する書籍の需要は大きいと見えて、大型書店には「日本論、日本人論」と表示を掲げたコーナーが設けられています。「日本論、日本人論」に出会うのはこのコーナーだけではありません。「異文化コーナー」もしくは「外国人コーナー」の前に立つと、いろいろな国についての本が色彩豊かな表紙を見せて、「この国に関心を持とう!」と誘っています。それらの本の中にも、タイトルでは直接「日本人論、日本論」と銘打っていないくても、外国紹介の中で、内容に日本批判や日本擁護、その国の人々の日本人観を取り上げている本が少なくありません。」

石澤清治『**日本人論・日本論の系譜**』(1979年丸善ライブラリー)

「それはいったい何故だろうか。たぶん日本の近代化と関係があるのかもしれない。明治維新前後、日本は欧米の技術力と工業力、さらにはその背景にあるシステム、に驚き、一部で自らを否定しつつ彼らを模範として追いつこうとして努力してきた。そこには常に自分たちと欧米との距離を、物質的な部分だけでなく精神的な部分についてもはかることを意識し、自らのアイデンティティの確立に苦悩する姿があった。」

赤文字は授業中の板書事項

2 外国人から見た日本

外国人から見た日本のイメージ

外国人，とりわけ欧米人は日本に対してどのようなイメージを持っているだろうか。

日本に対する超古典的なイメージ

戦後しばらくの間，各国の教科書には，日本をイメージするものとして，次のものの写真・説明が掲載されていた。

{1 富士山 }，{2 武士 }，{3 寿司 }，{4 芸者 }

フジヤマ日本の自然 サムライ 生魚を食べる 日本の着物・髪型

このイメージも日本が経済大国となった現在では多少修正され，{5 富士山 }と {6 新幹線 }の写真の組み合わせが多く使われ，後者が「産業の発達」・「日本の近代化」を示す象徴となっている。

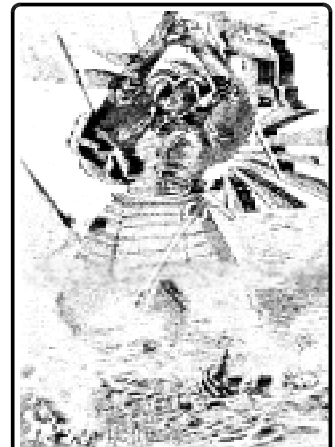
外国人から見た日本・日本人の不思議

来日した外国人の多くは，日本人の行動・日本の文化や社会について，自分の国のものとは異なると感じ，違和感を覚える。逆に言うと，彼らが違和感を持った部分は，日本文化・日本人の独特の要素であるといえる。

次は，欧米人が見た「日本人の不思議」を列挙したものである。

賀川洋『誤解される日本人』(1997年)

- 1) なぜ日本人は { 相手 } の { 目 } を見ないのか？
- 2) なぜ日本人は { イエス } とばかり言うの？
- 3) なぜ日本人は自分の正当性を主張できないの？
- 4) なぜ日本人は明快に表現しないの？
- 5) なぜ日本人の(政治家){ 演説 }はわかりにくいの？
- 6) なぜ日本人はくつつきたがらないの？
- 7) なぜくつつきたがらない日本人が通勤電車では平気なの？
- 8) なぜ日本人は { 妻 } を誉めないの？
- 9) なぜ日本人はいつまでも同じチームにいるの？
- 10) なぜ日本人は仕事が終わっても帰らないの？
- 11) なぜ日本人は会社に入ってもすぐ { 出世 } しないの？
- 12) なぜ日本人の上司は部下のプライバシーにまで干渉するの？
- 13) なぜ日本人の女性はカワイコぶるの？
- 14) なぜ日本の社会は「平等」でないの？



太平洋戦争の開始となる日本軍の真珠湾攻撃を説明する挿し絵。サムライがアメリカ軍艦を襲う。アメリカの教科書「World History」(K. N. Jantzen)

【確認 「アメリカの高校生が持つ日本像」】 (復習事項)

5月の自習時間に予習したアメリカの高校生の解答に見る，日本のイメージと日米関係
アメリカの高校生の多くは日本に対して特別な興味を持っていないし，日本のことを詳しくは知らない。

日米文化交流は一方通行・片思い。日本製の品物は周りにいっぱいあっても日本に対する特別な感情はない。われわれの周りの中国製品や韓国製品のように。